

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 9 月 18 日 (2014.9.18)

【公開番号】特開 2013-170785 (P2013-170785A)
 【公開日】平成 25 年 9 月 2 日 (2013.9.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-047
 【出願番号】特願 2012-36030 (P2012-36030)
 【国際特許分類】

F 2 4 F 1/32 (2011.01)

F 2 4 H 1/00 (2006.01)

F 2 4 H 9/06 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 1/32

F 2 4 H 1/00 6 1 1 F

F 2 4 H 9/06 3 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 8 月 4 日 (2014.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

封入した冷媒が循環する冷媒回路と、
 前記冷媒と水または液状熱媒体との熱交換を行う水冷媒熱交換器と、
 前記冷媒回路および前記水冷媒熱交換器を収容する筐体と、
 前記水または前記液状熱媒体が通る外部の配管である外部水配管を接続可能な接続バルブと、
 前記接続バルブを支持するバルブ支持部材と、
 前記筐体の内部で前記水冷媒熱交換器と前記接続バルブとの間を接続し、前記水または前記液状熱媒体が通る内部水配管と、
 前記筐体の底部に設けられ、前記筐体を支持する脚部材と、
 を備え、
 前記バルブ支持部材と前記脚部材とが一体化または連結されているヒートポンプ室外機。

【請求項 2】

前記筐体と前記バルブ支持部材との間に緩衝部材が介挿されている請求項 1 記載のヒートポンプ室外機。

【請求項 3】

前記緩衝部材は、弾性材料または可撓性材料で構成されている請求項 2 記載のヒートポンプ室外機。

【請求項 4】

前記バルブ支持部材と前記脚部材とを連結する連結部を含み、
 前記連結部は、前記脚部材から略水平に延びて前記バルブ支持部材の下端に繋がっている請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載のヒートポンプ室外機。

【請求項 5】

前記バルブ支持部材と前記脚部材との連結は固定部材を介してなされる請求項 1 から請

求項 4 のいずれか 1 項に記載のヒートポンプ室外機。